

演題 「青少年を取り巻く有害情報への対策」 ～子どもとインターネット・ケータイ～

【講師】NPO法人 浜松メディアリテラシー研究所 長澤 弘子 さん

磐田市立豊田中学校PTA厚生研修委員会



7月15日、長澤弘子さんをお招きして、保護者のみを対象とした講演会を開催しました。

情報化社会を生きる私たちは、インターネットや携帯電話なくしては生活できない状況下にあります。

インターネットや携帯電話の現状を知り、個人情報の流出やネット犯罪などの危険から、子どもを守るためにはどうすべきかについて、具体的に示唆をいただくことができ、とても有意義な講演会となりました。

【インターネットとは何か】

- ・インターネット上では、デジタル信号に変換できるもの全てを扱うことができ、誰とでもどこからでも何でもつながることができる。
- ・管理者がいないところで、世界中のありとあらゆる人とつながっている。
- ・匿名性があるので、子ども扱いができず、子どもと大人の区別がつかないために、誰とでもアクセスが可能である。
- ・ケータイは、さらにパーソナルになっているためにアクセスしやすく、子どもも利用しやすい。

【インターネット・ケータイの現状】

- ・携帯電話でインターネットをする人が増え、ケータイ専門サイトも増えた。テレビ番組でも携帯でアクセスするものが増えている。
- ・1日に6億人もの人がアクセスしている「モバゲー」や「GREE」という携帯サイトがある。最新のケータイコンテンツビジネスであり、スポンサーがついているために、通信料はかかるがゲームが無料でできる。
- ・小学6年生へのアンケート結果によると、インターネットでしてみたいことは、メールやショッピング、オークション等と回答していた。
- ・保護者の意識としては、子どもにケータイを持たせることで居場所がわかることは安心しているが、通信料やいじめの問題などを心配している。
- ・親は、動画や小説などのコンテンツには興味がなく、ゲームや音楽にもついていけない。子どもも言ってもわからないからという理由で、親に知らせていない。
- ・子どもはテレビを見ながら、お風呂に入りながら、ケータイで暇つぶしをしており、時間の隙間を埋める道具となっている。

【ネット犯罪を防止する方法】

- ・有害サイトにつながらないように、フィルタリング(網掛け)をする。
- ・親子で向き合って話し合いをし、「ケータイ契約書」を書く。
- ・子どもが使っているケータイの設定を変える。
- ・大人もケータイについて勉強し、子どもがどんなサイトを見ているか知っておく。

【子供たちがよく見ているサイトを視聴】

- ・ある検索エンジンを使って画像検索をすると、キーワードに反して、いかがわしい画像が検索される。また、誹謗・中傷の言葉が多く書き込まれた掲示板もある。
- ・「You Tube」「ニコニコ動画」なども、子どもに人気のサイトである。
- ・携帯サイトにある「プロフ」は、自分のプロフィールを書き込んだり、ホームページを作成できたりするため、不特定多数の相手とのコミュニケーションの場となっている。

【保護者の皆様をお願いしたいこと】

情報が氾濫している現代は、子どもは何でも知ることができる環境にある。この中で生きていくためには、「使わない」「知らない」「興味がない」は通らない。

子どもと向き合って教わりながら、ケータイやインターネットについて知ってほしいし、今回の講演の内容について、簡単な言葉でよいので周囲の方々に伝えてほしい。

